

感染状況・医療提供体制の分析(5月31日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 公表の前週(月～日)の合計	前回の数値 (5月24日公表) 5月13日～5月19日	現在の数値 (5月31日公表) 5月20日～5月26日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	262人	247人	↓	レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要 定点当たり患者報告数は 2.94人 とほぼ変わらず。RSウイルス感染症や手足口病、咽頭結膜熱は増加傾向で、A群β溶血性レンサ球菌咽頭炎も例年に比べ多い。 全国的にも岡山でも新型コロナウイルス感染はやや増加傾向。5類移行し、1年が経過したが、今後も夏や冬などの人流の多い時期は流行が予想される。体調不良時は人と会うのを控えるといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要となる。
	定点当たり数	3.12人	2.94人	↓		
	報告数に占める60歳以上の割合	33.2%	30.8%	↓		
	② 保健所別定点当たり患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	岡山市保健所	1.23人	1.50人	↑	
		倉敷市保健所	4.19人	3.88人	↓	
		備前保健所	2.53人	2.13人	↓	
		備中保健所	2.83人	2.33人	↓	
		備北保健所	9.50人	8.83人	↓	
真庭保健所		1.00人	2.67人	↑		
入院状況	③ 入院患者数 (入院基幹定点サーベイランスより)	14人	10人	↓	医療機関への入院も継続し、一部地域では増加しており、注意が必要。 ハイリスク患者の早期診断・治療は必要。	
	④ 人工呼吸器利用 (入院基幹定点サーベイランスより)	1人	0人	↓		

*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。